

大分大学における学習支援システム運用方針

情報基盤センター及び医学情報センター(以下、センターと記載)が管理する学習支援システムについて、下記方針に基づき運用する。

【システム種別】

1. 汎用学習支援システムと英語学習支援システムの 2 種を運用する。
2. 汎用学習支援システムとして Moodle を、英語学習支援システムとして ALC NetAcademy Next (株式会社アルク)を運用する。

【利用目的】

3. 汎用学習支援システムの利用目的は、以下のものに制限する。
 - 3-1. 大分大学に所属する学生及び教職員を対象とする教育研修
 - 3-2. 大分大学の全学または学部/学科/附属施設等の組織が主体となり取り組む教育研修
 - 3-3. 学術情報拠点副拠点長(情報基盤センター)が必要と認めた利用目的
4. 英語学習支援システムの利用目的は、以下のものに制限する。
 - 4-1. 大分大学に所属する学生及び教職員を対象とする教育研修

【システム利用申請】

5. 汎用学習支援システムには、大分大学に所属する学生及び教職員のユーザアカウントを自動登録する。
6. 英語学習支援システムには、大分大学に所属する学生のユーザアカウントを自動登録する。
また、大分大学に所属する教職員のユーザアカウントは、情報基盤センターWeb ページから ALC NetAcademy Next 利用申請または同管理者申請をすることで登録する。
7. 3-2.または 3-3.の目的で、大分大学に所属しない者が汎用学習支援システムの利用を希望する場合は、その利用に関係する本学教職員からの利用申請を必要とする。また、利用終了後は速やかにシステムに登録したユーザアカウント及びユーザデータを削除するものとし、コースの再利用は認めないものとする。

【コース登録申請】

8. 大分大学の教務情報システムに登録された科目は、汎用学習支援システムにコースを自動登録する。
9. 大分大学の教務情報システムに登録された科目以外で、汎用学習支援システムのコース利用を希望する場合は、情報基盤センターWeb ページから Moodle コース作成申請をすること。
なお、同申請は本学教職員のみが行うことができる。

【その他】

10. 学習支援システムに利用者が登録する教材等のコンテンツについては、そのコンテンツが他者の知的所有権を侵害していないことを、コンテンツを登録する利用者本人が確認すること。
11. 学習支援システムを用いて、以下の行為を行うことを禁止する。これらの禁止事項に違反する行為が見られた場合は、センターは事前に通知することなく、当該利用者の利用資格の停止、および当該コンテンツの削除・アクセス制限を行う権限を有する。
 - ・法令若しくは公序良俗に反するコンテンツ、または反することを奨励するコンテンツをシステムにアップロードすること。
 - ・システムを利用して、いやがらせ、ストーキング、または差別を行うこと。
 - ・システムにおける他の利用者の個人情報、正当な理由なく収集・開示すること。
 - ・コンピュータウイルス等の悪意のあるプログラム等を含んだコンテンツをシステムにアップロードすること。
 - ・なりすまし等により、本システムに対する不正アクセスを行うこと。
 - ・知り得た本システムの脆弱性を、管理者に通知することなく第三者に開示すること。